

令和3年度まちづくり懇話会

日時：令和3年11月2日15：00～16：30

場所：水堀コミュニティセンター

令和3年11月25日時点

分野：産業団体2（農業者）

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
1	農業関係者	【農業の現状について】 米と馬鈴薯に関しては安くて厳しく、江差町の農家の影響が大きいところと思っている。特に基幹作物である米は毎年努力して良いものが獲れると限らない中で、今年は品質が良くて量も獲れた。5、6年に1回くらいの豊作で儲ける年だったはず。 米は良い年もあれば悪い年もあって、値段も動くものだし、馬鈴薯も一緒に波がある。コロナが有ろうが無かろうが慣れてるが、次の年に何が起こるかという、継続して土づくりに土壌改良剤などお金をつぎ込んでいたものを少し減らそうとか、設備投資を我慢するとか先送りになる。毎年継続してやらずなくてはならないものが控えらさると次の年の農作物の収量に影響が出る。継続して支えてもらう姿勢を行政には見せてもらいたい。	今年はコロナの状況、天候の影響があった中で、公平性を担保しながら、どう困っている人に対策できるのか、経営規模が大小で同じ支援でいいのかなどの制度設計が難しい。 機械補助について、以前にも行っていたが、一旦事業としては役割を終えた。継続支援のご意見だと思う。また、米価が下落する懸念に対する対策も考えていかなければならないと思っている。皆さんに広く、困っているところへお金が届く形にする制度設計にしていきたい。		産業振興課
2	農業関係者	【農業の現状について】 2、3年後の先が見通せない状況の中で、大豆であったり小豆であったり、今年は農協で頑張ってる部分もあって、単価は下がっているが量でカバーできた状況だった。 農機具の値段も上がっているの、新しいものではなく、中古を探すかたちになっている。支援は皆いろんな作物を付けて、品目もばらつきがあり、難しい部分もあるが、面倒見てくれたらいいのかなと思う。	No.1 回答内容と同じ		産業振興課
3	農業関係者	【支援の要望について】 機械とかの支援がほしい。	No.1 回答内容と同じ		産業振興課

令和3年度まちづくり懇話会

日時：令和3年11月2日15：00～16：30

場所：水堀コミュニティセンター

令和3年11月25日時点

分野：産業団体2（農業者）

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
4	農業関係者	【支援の要望について】 町は支援すると言っているが、皆はどの内容で、どのくらいの金額が出るのか、それとも機械の補助とか具体的に早く答えが欲しい。	コロナ対策については収穫時期を迎えてからでないと状況が見えないこともあり、秋以降になってしまっている。必ず農業者支援はやっていきたい。		産業振興課
5	農業関係者	【農業の現状について】 私は花卉農家だが、今年は自分の努力ではどうしようもないくらい的高温の年だった。定植の時は、ハウス1棟ずつ順番に定植していくが、夏的高温で一気に花が咲いてしまった。コロナの影響で市場も限られてしまって、札幌に全部流れた時は、箱代、送料で手元に全然残らないことも何回もあった。その中で、農協が手を尽くしてくれたり、町の軽トラ市で花をPR出来たのは良かったと思う。 今年みたいに高温が続くと、花自体の苗がだめになり、全部消毒に回してしまう。消毒している状態で来年は苗を全部植えなくてはならない状態。花卉農家は機械はいらないが、花の苗の一部だけでも補助してほしい。	花卉の苗はどのくらいの頻度で入れ替えを行うものか。		産業振興課
6	農業関係者	【花卉の苗を入れ替える頻度について】 品種にもよるが、2、3年収穫できるものもある。次の年に消毒して新しいものに備えるかたち。自分で育てる苗もあるが、忙しい時期になると時間が無いので購入して対応する。花の苗は高い状況。	どう対策できるのか考えたい。		産業振興課

令和3年度まちづくり懇話会

日時：令和3年11月2日15：00～16：30

場所：水堀コミュニティセンター

令和3年11月25日時点

分野：産業団体2（農業者）

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
7	農業関係者	【支援の要望について】 機械の補助ほしい。 来年は肥料とかマルチが値上げするのではないかと聞いた。今年の作物が悪くて、来年の経費が上がると経営難になるのではないかと心配してる。そういうところに補助あれば嬉しい。 農地の流動化について、売買は担い手に1反1万円が補助されるのを皆知ってるので、それを踏まえて売買になる。農業委員会が上手く間に入って売買の補助をしてくればなと思う。	農地流動化について詳しく教えてほしい。		産業振興課
8	農業関係者	【農地流動化について】 1反当たりの売買目安金額があるが、他町の相場と比較されてしまう。農業委員会が、他町に農地を売るのは止めてとか、間に入ってくれた方が上手くいくのではないかと。 助成金についても売る側は制度を知ってるので、上乗せして売買の話をしてくる。	農地流動化の助成は江差の人が江差町の農地を守ってほしいとの願いを込めた町からのサイン。趣旨を履き違えて売買されている気がする。農地流動化の補助の意義を生産者へ周知していくことを考えていく。上乗せして相手に売るのではなく、買うための原資にしてほしい。	農地流動化促進補助金制度について、町広報紙に掲載し、周知を行います。	産業振興課
9	農業関係者	【農業の将来ビジョンについて】 江差町の農業の将来ビジョンをどう見てるのか聞かせてほしい。	担い手を育成して、基盤をしっかり整備していきたい。経営できる体制を農業者の皆さんと作っていききたい。基幹作物を次世代に残せる形を作りながら、高収益の作物にもチャレンジしてもらい、心が暖まるような農業経営をしていただきたい。自然を生かして、災害から守る、農地を守ることが地域に大事な役割を果たしてもらっている。農業者の数が減っても、農地が減らない、収量が減らない、そういう農業を皆さんと考えていきたい。農業を地域で盛り上げて、皆さんからのご意見をいただきながら農業政策を進めていきたい。		産業振興課

令和3年度まちづくり懇話会

日時：令和3年11月2日15：00～16：30

場所：水堀コミュニティセンター

令和3年11月25日時点

分野：産業団体2（農業者）

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
10	農業関係者	【地域防災について】 大雨による災害について、江差町ですぐ避難所の開設など早く対応はできるのか。 災害被害があった場合は、消防団に皆入っているの、当然動かなければならない。高齢者の避難をどうすればいいのか、町の考え方を教えてほしい。	避難勧告から避難指示に変更。市町村長の判断で発令。大雨、洪水、土砂災害は状況を総合的に判断し、早く避難所を開設することを考えている。 高齢者の避難については、要支援者名簿を町内会、民生委員へ渡している。役場だけではなく、地域の方も協力してもらいながら対策を講じていく。		総務課
11	農業関係者	【農地の有効活用について】 米の時代じゃないと思っている。江差町の農地を守るには、これだけの農地であれば人の手がかからない、一番不足している作物だと麦ではないか。麦であれば乾燥機、コンバインを大きくして農地を大きくした方が有利じゃないか。それに対しての支援とか、町の方でも考えてもらいたい。 農地売買の前に、国でしている農地中間管理機構を利用して土地を増やすことも考えてもらいたい。町と一緒に連携して進めていきたい。	農地有効活用について、農業者の皆さんと意見交換しながら、農地の活用方法や、どういう作物を付けていったらいいのか、方向転換していった先を含めながら議論していきたい。 農地中間管理機構を江差は中々活用がされていない。今基盤整備が始まっていく中で、事業実績を見える化していかないと、次の事業が進んでいかない指摘もある。活用でできるモデルケースを江差町でも見せていきたい。		産業振興課
12	農業関係者	【道の駅について】 江差町の道の駅の在り方について、インターネットで良くない書き込みが見られた。今後どういうふうにしていくのか聞きたい。	全国的に展開された当初に建てたもの。ご指摘のとおり駐車スペースが不十分、建物がこじんまりしている。江差町としてはかもめ島周辺に道の駅を作りたいと考えている。計画を立てながら物産だけではなく、周りの道の駅と差別化を図りながら、住民や外から来た人も楽しめる交流拠点にしていきたい。		まちづくり推進課

令和3年度まちづくり懇話会
 日時：令和3年11月2日15：00～16：30
 場所：水堀コミュニティセンター

令和3年11月25日時点

分野：産業団体2（農業者）

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
13	農業関係者	【道の駅について】 道の駅が小さくても、今いろんな販売機がある。例えば子供のオムツ3枚入とか、ティッシュだとか肉とか、活用したら人手もなくて良いのかなと思う。	今ある道の駅も改善しながら検討したい。		追分観光課
14	農業関係者	【地域防災について】 災害起きたとき、隣町は1戸1個に防災無線を設置している。江差町は外だったら吹鳴装置で気づくが、屋内だとわからない。防災無線は付けないのか。	今の防災行政無線はアナログではないかと感じている。一方的なお知らせではなく、双方向のやり取りができたり、効率的な運用ができる無線の在り方があるのではないかなと思う。災害はいつ起きるか分からないので、早く結論をださなければならない。	当町の避難情報の伝達手段は、エリアメール、広報車、消防吹鳴装置の3手段です。伝達方法については、個別受信機のほか、スマホやタブレットなどの手法もあるため、どの方法がよいのかも含め、今後の検討課題とさせていただきたい。	総務課
15	農業関係者	【支援の要望について】 支援はいつなのか。これから会議で決まると思うが、答えを聞いて安心したい。農地を広げたくても、機械購入できなくて断念してしまう。他町は補助あるから増やせる。頑張っていきたいけど限界があるので、町の協力は必要だと思う。	ご意見をいただいて、すぐやらなくてはいけないコロナ対策としての農業対策は必ずやります。広く理解いただいて、困っている皆さんに届けられる支援策を講じれるのか、意見を踏まえながら早く答えを出していきたい。方針を出す前にまず皆さんから話を聞きたかったとしてご理解ください。 機械助成は以前していたが、助成の希望があることを強く感じた。予算化をどうしていくのか検討したい。課題や不安を少しでも解決できるように行政と一緒に手を組んでいく体制を作っていきたい。		産業振興課

令和3年度まちづくり懇話会
日時：令和3年11月2日15：00～16：30
場所：水堀コミュニティセンター

令和3年11月25日時点

分野：産業団体2（農業者）

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
16	農業関係者	【今後の情勢について】 米価の下落はコロナがまだ続く可能性から来年、再来年も続くのかなと思う。上がるとしても2、3年徐々に戻ってくれば良いなと思っている。ただ、燃料も最近高くなった。鉄とかも値段も上がってる。機械の金額は上がったものは下がらない。この点も踏まえて考えてもらいたい。	燃料は非常に高騰している状況で、どこまで続くのか情勢を見極めていかなければならない。負担が大きくなっていると感じている。		産業振興課
17	農業関係者	【インフルエンザワクチン接種について】 ワクチンが、隣町で月が替わったら入ってきてるのに、江差町は入らないのか。	昨年から各病院にもワクチンの量を多くしてほしいと要請をしている。ただ、それなりの量しか仕入れられなく、現在は予約打ち切りの状況となっている。インフルエンザの助成は他町の病院で接種しても対象としており、また、現在も病院に仕入れの努力をしてもらっている。	インフルエンザワクチンは、国が製造量や都道府県への配分量を決定しているものであり、また、ワクチンの特徴上、すぐに製造できるものでないことをご理解いただきたい。	健康推進課